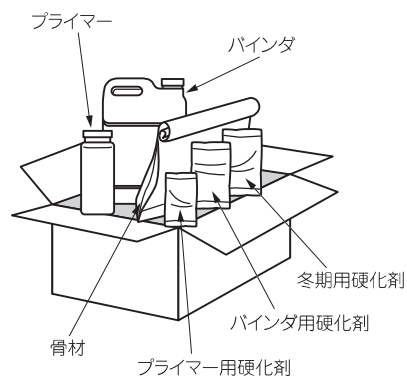


セラグリップ[®]キット

セラグリップ キット 取扱説明書

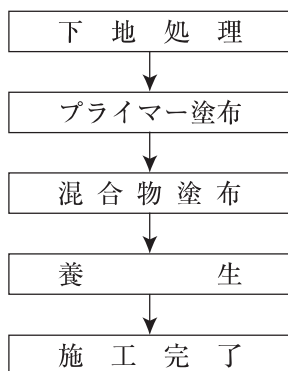
1. 内容品とその用途

- プライマー：接着剤として施工面に塗布します。
バインダ：骨材と混ぜて混合物を作ります。
骨材：バインダと混ぜて混合物を作ります。
バインダ用硬化剤：バインダに添加します。
プライマー用硬化剤：プライマーに添加します。
冬季用硬化剤：低温時にバインダに添加して、硬化時間を早めます。



2. 施工方法

(1) 施工フロー図



(2) 施工方法の説明

a. 下地処理

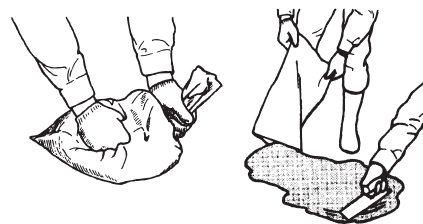
アスファルト舗装及びコンクリート舗装表面に付着したゴミや油分・水分を除去します。路面の脆弱部は下地との一体化の弱点部となり、クラックや剥離の原因となるためハツリ取るなどして完全に除去してください。レタンス分が残っている場合は、骨材面が出るまで除去します。ダイヤモンドカップ付きディスクグラインダーで研掃する事を基本とします。下地処理においては清浄で乾燥した堅固な下地面に仕上げることを目的とします。

b. プライマー塗布

下地処理完了後、施工個所周辺をガムテープで養生します。塗布手順は、まずプライマー容器の中にプライマー用硬化剤を投入します。次に蓋をしっかりと閉めてから10～20秒程度容器を上下に振り、プライマーとプライマー硬化剤を十分に混合します。これを刷毛・ローラー刷毛等にて施工個所に塗布します。塗布量は300～400g/m²とします。

c. 混合物塗布

プライマー硬化後、バインダ容器の中にバインダ用硬化剤を投入します。次に蓋をしっかりと閉めてから10～20秒程度容器を上下に振りバインダとバインダ用硬化剤を十分に混合します。その後、骨材（袋入り）の中へバインダ用硬化剤を混合したバインダを投入し、骨材の袋の口をしっかりとつかみながら袋中でバインダと骨材を揉みほぐすようにしてよく混合します（約1分程度）。混合完了後、施工個所に打設しコテ等にて敷均します。硬化完了の目安（＝交通開放）は、指で押して骨材が動かなくなった時点です。表面にタック（若干のべとつき）が残ることがありますが、性能に問題はありません。混合物の付着したコテは、市販のラッカーシンナー等にて洗浄してください。



d. 冬期の施工について

外気温が10℃以下の場合に冬季用硬化剤を使用してください（プライマーには必要ありません）。

冬季用硬化剤はバインダ容器の中にバインダ用硬化剤投入時に一緒に投入し十分に混合して使用してください。

冬季用硬化剤を添加しない場合、硬化が十分に進行しない場合があります。また、気温の高い日に冬季用硬化剤を使用しますと硬化時間が早くなり、可使用時間が十分にとれないことがありますので使用条件には十分注意してください。

3. 施工上の注意

ー火気についてー

プライマー及びバインダは、消防法に定める第4類第1石油類（引火点21℃未満）に属する可燃性液体です。タバコ等の火気には十分注意を払うとともに、熱や直射日光を避けて保管してください。保管場所、施工場所は、必ず火気厳禁とし、常に消火器を用意しておいてください。

ープライマー及びバインダについてー

プライマー及びバインダに長期にわたって繰り返し接触すると皮膚炎を起こすことがありますので、必ず保護具を着用してください。皮膚に付いたときは、布などで拭き取ってから石鹸水でよく洗ってください。

揮発分に有害な毒性はありませんが換気をよくして下さい。目に入った場合は直ちに清浄な水で15分以上洗浄し医師の診断を受けてください。飲み込んだ場合は、無理に吐き出させず、医師の診断を受けてください。詳細についてはSDS（安全データシート）をご覧ください。プライマー及びバインダ並びに混合物は硬化時に反応熱で高温となり、また刺激臭の煙が出る場合があります。そのような時には、硬化反応が終わるまで屋外で放置してください。粘度調整や硬化時間の調整のためにシンナー等で薄めることは絶対に行わないでください。硬化不良の原因になります。

ー骨材についてー

硬化の段階において混合物は水分の存在を嫌いますので、骨材は絶対に湿らさないように取り扱ってください。他の骨材での代用はできません。

ープライマー塗布についてー

プライマー容器の中に、プライマー用硬化剤を投入し、よく攪拌した後すばやく塗工してください。容器にプライマーが入ったままだと、プライマー樹脂成分の蒸気が立ち上ったり、硬化熱により急激に発熱（オーバーヒート）することがあるので注意してください。プライマーの量が多い時は、ローラーパンなどに移して表面積を広げるとオーバーヒートを防ぐことができます。プライマーを一度に塗工しきれない場合は、プライマーを別容器に半分ほど計りとったものにプライマー用硬化剤を1袋の半分投入しよく攪拌してから塗工することもできます。

ー混合物塗布についてー

混合物の塗布にあたっては、施工面に樹脂が行き渡るようコテ圧を十分にかけて振動させるようにしてゆっくり敷き均してください。

ー下地温度についてー

夏場、直射日光の下では路面温度がかなりの高温になります。このような場合、混合物の硬化が急速に進行するため、可使用時間が極端に短くなり仕上がり状態などの施工性が悪化、また、混合物としての性能も低下するため、シート等で覆うなどして可能なかぎり下地温度を下げてください。（気温0℃以上25℃以下）。

尚、下地温度が0℃以下の場合は前もってご相談願います。

ー工具の洗浄についてー

使用した道具の洗浄は、市販のラッカーシンナーにて行ってください。硬化の前であれば容易に洗浄できます。コテ等に付着した硬化した混合物は、一晚ラッカーシンナーに浸しておきますと容易に除去できます。

4. 保管上の注意

セラグリップキットは、直射日光や雨水のあたらない風通しの良い屋内の冷暗所に保管してください。保管場所には、火気厳禁の表示を行ってください。



美州興産株式会社

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-17-28

TEL 052-551-9400(代) FAX 052-551-9231